

薬剤師のためのスキルアップ講座 JC-08

薬物治療 アップトウデート講座⑧

「うつ病と双極性障害の 薬物療法とその考え方」

日時

2021年 1月9日 土 13:10-16:20

オンライン開催 (Zoom利用のライブ配信)

受講料: 3,000円 (定員100名) ※本学教職員及び学生の受講料は無料
薬剤師研修センター2単位配付予定
受付期間: 2020年1月4日(月)17:00まで

第1部

13:10~14:40

「抗うつ薬の使い方、考え方
～基本から最新知見まで」



第2部

14:50~16:20

「双極性障害と薬物療法・生活指導」

講師: 功刀 浩 (くぬぎ ひろし) 先生
帝京大学医学部 精神神経科 教授

受講希望の方は下記ホームページよりお申し込みください。

※本学学生もこちらから申し込んでください

東京理科大学薬学部 医療薬学教育研究支援センター (SCCPER)

<https://www.tus.ac.jp/sccper/>

お問い合わせ先: sccper@admin.tus.ac.jp

受講予約
お問い合わせ

うつ病と双極性障害の薬物療法とその考え方

精神疾患の中でも、気分障害、統合失調症は、患者数の多い疾患です。その病態や治療法に関する理解は、年々、大きな進歩・発展を遂げているものの、未だ、多くの未解決の課題が残っている領域でもあります。本講座では、気分障害・統合失調症の治療薬である抗うつ薬・抗精神薬について、この領域の先導的な役割を果たされている功刀先生をお迎えして、最新の知見をふまえながら、講義をしていただきます。明日からの臨床・服薬指導・研究開発にお役立て下さい。

講師：^{くぬぎ ひろし}功刀 浩先生

帝京大学医学部精神神経科・教授

1986年 東京大学医学部卒

1991年 帝京大学医学部精神科助手

1994年 博士(医学)取得(東京大学)

1994年 ロンドン大学精神医学研究所にて研究(1年半)。

1998年 帝京大学医学部精神神経科・講師

2002年 国立精神・神経医療医療研究センター疾病研究第三部・部長

2017年 同センター 気分障害センター長兼務

2020年より現職

講義の概要

第一部：抗うつ薬の使い方・考え方～基本から最新知見まで

第二部：双極性障害と薬物療法・生活指導

【第一部】うつ病に関する基本的な知識として疫学、症状、診断、類型、治療法、病態仮説などについてまず簡単に紹介します。次に抗うつ薬の種類と薬理作用や適応、効果発現メカニズム、副作用、選択基準、使用法などについての考え方を概説します。一般に信じられている作用メカニズムの問題点などについても分かり易く説明します。また、最近の抗うつ薬開発の動向についても触れたいと思います。本講座を聴くことによって、うつ病という病気や抗うつ薬の役割について“わかった”と思えるようになること、そして、うつ病患者さんに笑顔で接することができるようになることをめざします。

【第二部】双極性障害は躁うつ病ともいわれ、生涯罹患率2～3パーセントとされます。従来、うつ病とともに「感情障害」あるいは「気分障害」に分類されていましたが、近年うつ病とは異なった治療を行う必要があることがわかってきました。今回の講義では、双極性障害の疫学、症状、病因、診断、気分安定薬を中心とした薬物療法の基本、日常生活指導などにつてエッセンスをお話します。本講座を聴くことによって、長期療養を要することの多い本疾患において、患者さんの生活の質(QOL)の向上に寄り添えるようになることをめざします。